

# アムステルダム日本語補習授業校

Japanese Saturday School Amsterdam

## 概 要



2025年度

# 目 次

|    |                  |    |
|----|------------------|----|
| 1  | 校歌               | 1  |
| 2  | 教育理念・目標・方針       | 2  |
| 3  | 設立・沿革            | 3  |
| 4  | 学校運営の体制          | 4  |
| 5  | 総則               | 5  |
| 6  | 学習活動             | 8  |
|    | 1. プリクラス         | 8  |
|    | 2. 小学部           | 9  |
|    | 3. 中学部           | 11 |
| 7  | 年間予定表            | 13 |
| 8  | 諸費用              | 14 |
| 9  | 学校生活のきまり         | 15 |
| 10 | 校舎使用に関する注意       | 17 |
| 11 | 安全指導と対策・非常時の対応   | 18 |
| 12 | 本校が加入している保険      | 19 |
| 13 | 児童生徒数            | 20 |
| 14 | 理事・教職員一覧         | 22 |
| 15 | 備考               | 23 |
|    | 1. 校舎について        | 23 |
|    | 2. 自動車での送迎に関する注意 | 23 |
|    | 3. 諸届用書式         | 24 |
|    | 4. 学校連絡先         | 24 |

# 1 校歌



## アムステルダム日本語補習授業校 校歌

モーレンカンブふゆこ 作詞  
鈴木和彦 作曲

♩=100

G C D7 G C

1. たん ぽ ぽを つ み つ つ う た う に ほ ん の う た  
2. ほっ か い の ど と う も か ぜ も わ れ ら に は と

D7 G C G C Am D7

を びゃく や ふ け し み じ み と み る じ し ょ の ほ こ ろ  
も き り さ め の う ん が の は し を と も よ わ た ろ

G Am7 D7 Bm7 Em7 Am A7

び かし の も り よ ひ か る う み よ ア ム ス テ ル ダ ム  
う かし の も り よ ひ か る う み よ あ ア ム ス

D7 G G7 C Cm6 G C#m7-5

の ほ し ゅ う こ う に と し は め ぐ り て こ こ は い ま わ た  
テルダムの

D7 G C G

し の ふ る さ と

## 2 教育理念・目標・方針

児童生徒の異文化間の経験と、各々の家庭で育まれてきた個性を尊重しながら、児童生徒に必要な日本語と基礎教養を身につけさせること。日本文化及び国際社会での日本の位置に対する深い理解ができるようにすること。

### 1. 学習目標

- ① 文部科学省指定の教科書、学習指導要領を指導計画の基本とする。  
教科は国語、算数/数学、生活/社会の3科目とする。
  - \* 小学部では、基礎（読解力・表現力・思考力）を身につける。
  - \* 中学部では、自分の感情と思考を具体的に表現し、批判や批評などが論理的にできるよう学習を進める。
- ② 毎週の朝礼（中学部は、月の第1週目のみ）、ラジオ体操、歌、年間行事である運動会やお正月会などを通じて、日本の文化を体験しながら学習する。

### 2. 本校の現況と教育方針

本校は、ヨーロッパの主要都市であるアムステルダムに発足し、40年余りの歴史を持っている。本来の目的は、日本の教育制度外の教育機関で教育を受けている児童生徒を対象に、彼らが日本に帰国した際、日本の学校教育に円滑に適應できるよう文部科学省指定の教科書を使い、学習指導要領に基づき、週1回の授業を行うことである。

しかし、近年の日本社会ならびに国際情勢の変化に伴い、本校児童生徒およびその保護者の生活背景もますます多様化していて、本校への期待が本来の目的と必ずしも一致しないケースも出てきている。この多様化に対処するため、児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを取りながら少人数制を実施し、児童生徒の学習力、適性、学習目的等、個々に応じた学習指導を心がけている。

週1回の授業を通じて本校の理念および学習目的を達成するために、保護者の理解と協力が必要不可欠である。特に小学部低学年においては、保護者の学習補助のみならず、集団活動で最低限必要とされる規律の理解としつけが家庭学習として求められる。

### 3 設立・沿革

|      | アムステルダム日本語補習授業校                                                                                                        | 在蘭日本商工会議所                                                                                          | アムステルダム日本人学校                                   |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
|      | ・私塾的なものとして発足                                                                                                           | ・在蘭日本企業懇話会<br>・在蘭日本商工会議所と改名。                                                                       |                                                |
| 1969 | ・アムステルダム日本語学校に発展する。<br>校舎はパウテンフェルデルトのアムステルダム<br>インターナショナルスクールを借用。                                                      | ・在蘭日本商工会議所が日本語学<br>校の運営主体。<br>・在蘭日本商工会議所のもとに<br>「オランダ日本人学校設立準備委<br>員会」が結成され全日制オランダ<br>日本人学校設立準備開始。 |                                                |
| 1979 | ・オランダ日本人学校の設立と同時に、アムステ<br>ルダム日本語学校は、保護者運営の私塾的な学校<br>としてインターナショナルスクールにて存続。                                              |                                                                                                    | ・オランダ日本人学<br>校開校。校舎はフラ<br>ンス・ハルススク<br>ールを借用。   |
| 1980 | ・両親のいずれかが日本人で日本語教育を受けら<br>れなかった6才～12才の児童を対象に、国際学<br>級が1クラス開設され1984年まで継続。                                               |                                                                                                    |                                                |
| 1982 | ・アムステルダム日本語学校を母体に在蘭日本商<br>工会議所の運営のもと、アムステルダム日本語補<br>習授業校が創立される。校舎はオランダ日本人学<br>校の一部を土曜日のみ借用。                            |                                                                                                    |                                                |
| 1984 | ・オランダ日本人学校の新校舎に移転。                                                                                                     |                                                                                                    | ・新校舎（現在地）<br>に移転。                              |
| 1990 | ・北ブラバント補習授業校の設立により、ブラバ<br>ント州からの児童生徒が約25名転出。                                                                           |                                                                                                    |                                                |
| 1992 |                                                                                                                        |                                                                                                    | ・ロッテルダム日本<br>人学校開校により、<br>アムステルダム日本<br>人学校に改称。 |
| 1993 | ・小学部1年入学予定の幼児を対象に2学期・3<br>学期のみのプリクラス創設。<br>・本校教諭陣の制作による校歌誕生（作詞・富田<br>冬子教諭、作曲・鈴木和彦教諭）。                                  |                                                                                                    |                                                |
| 1994 | ・財団法人化とともに理事会が発足。                                                                                                      |                                                                                                    |                                                |
| 1999 | ・Tシャツ制作。ロゴは、公募により生徒<br>（下田浩央氏）作品を採用。                                                                                   |                                                                                                    |                                                |
| 2003 | ・ハーグ・ロッテルダム補習授業校の校舎移転に<br>より、児童生徒が約10名転入。                                                                              |                                                                                                    |                                                |
| 2006 | ・校章制定。公募により、保護者<br>（渡部元見さん）作品を採用。<br>・アムステルダム日本人学校との合同研修開始。                                                            |                                                                                                    |                                                |
| 2007 | ・英語校名を Japanese Saturday School<br>Amsterdam（略称 J S S A）に変更。<br>・校章入り新Tシャツを制作、在蘭日本人合同運<br>動会にてお披露目。<br>・創立25周年記念式典を開催。 |                                                                                                    |                                                |
| 2015 | ・プリクラスが5月からの通年制となる。                                                                                                    |                                                                                                    |                                                |

## 4 学校運営の体制

### 〔理事会〕

1. 理事会は在蘭日本商工会議所の下部組織であり、理事少なくとも4名が本校を代表する。
  2. 理事長は、在蘭日本商工会議所理事会が決定、同会議所会頭が任命する。  
理事の交替は、現職理事の推薦を受け、理事会が決定する。
  3. 理事会は、本校の財務処理および雇用関係に関する運営主体である。
- 

### 〔教務〕

4. 校長は、本校の通常の教務活動運営を理事会から移譲される。
5. 校長ならびに各学部主任は、前任者が候補者を推薦し、  
理事会の審議・決定を経て、理事長が任命する。

### 〔事務〕

6. 事務局は、校長の責任の下に教務以外の学校事務を行う。
- 

### 〔保護者会〕

7. 全児童生徒の保護者は、補習校保護者会の会員となる。
8. 保護者会総会を、前期（9月頃）と後期（2月頃）、各一回開催する。  
保護者会総会に、理事および校長はオブザーバーとして出席する。
9. クラス役員を、各クラスの保護者の中から選出する。
10. クラス役員の任期は前期（4月～9月）および後期（10月～3月）とし、  
前期・後期に分けて選出する。
11. クラス役員、日直当番に関する仕事・役割およびその分担は、保護者会が決定する。



## 5 総則

### 1. プリクラス応募資格及び入学選考

- ・ 次年度本校小学部 1 年に入学予定の者。
- ・ 入学審査を行い、その審査結果により選考する。必要に応じて面談を実施する。
- ・ 2025 年度プリクラスは 2020 年 4 月 1 日生まれまで、2026 年度プリクラスは 2021 年 4 月 1 日生まれまでの児童を対象とする。
- ・ 入学希望者の入学手続き完了後に定員を超過している場合は抽選を行う。なお、入学希望者のきょうだいがすでに本校に在籍している場合、その入学希望者は抽選の対象から除外する。

### 2. 小学部 1 年生応募資格及び入学選考

- ・ 入学審査を行い、その審査結果により選考する。必要に応じて面談を実施する。
- ・ 教師が教室で使用する日本語を理解でき、補習校の学習進度に合わせて小学 1 年生の教科書が理解できる日本語能力を有していることを入学条件とする。
- ・ 2025 年度小学部 1 年生は 2019 年 4 月 1 日生まれまで、2026 年度小学部 1 年生は 2020 年 4 月 1 日生まれまでの児童を対象とする。
- ・ 入学希望者の入学手続き完了後に定員を超過している場合は抽選を行う。なお、入学希望者のきょうだいがすでに本校に在籍している場合、その入学希望者は抽選の対象から除外する。

### 3. 中学部 1 年生応募資格及び入学選考

- ・ 補習校の学習進度に合わせて中学 1 年生の教科書が理解できる日本語能力を有していることを入学条件とする。(小 6 修了レベルに達しているか審査を行う。)
- ・ 2025 年度中学部 1 年生は 2013 年 4 月 1 日生まれまで、2026 年度中学部 1 年生は 2014 年 4 月 1 日生まれまでの生徒を対象とする。

### 4. 学習評価

前後期末ごとの試験などの結果を基準にした絶対評価を行う。

- ・ 小学部：3 段階評価（1・2 年）または 5 段階評価（3～6 年）による。
- ・ 中学部（1～3 年）：3 段階評価による。

### 5. 進級

- ・ 学力的に問題がなく、出席すべき授業日数の 70%以上出席していることを条件とする。たとえば、休学により出席すべき授業日数が 39 日となった場合、その 70%は計算上 27.3 日となるが、28 日の出席が必要となる。

## 6. 再履修

- ・ 該当学年の学習において習熟度が所定のレベルに達していないと担任が判断した場合、保護者と面談を行い学習支援を促し経過を見る。年度末の時点で、担任が進級困難と判断した場合は、学校全体で検討し判断する。再履修が決定した際は原則として校長・主任ならびに担任から保護者に伝達する。なお、再履修は1学年につき1回のみとする。

## 7. 欠席・遅刻・早退・途中退出の際の連絡方法

- ・ 欠席・遅刻・早退・途中退出の連絡は、補習校ウェブサイトにあるグーグルフォーム (<https://forms.gle/He9KssBfDC7kfnTv9>) に当週分を記入して送信する。グーグルフォームが使えない場合や当日の午前9時以降は学校に電話連絡する。

## 8. 遅刻・早退・途中退出の扱い

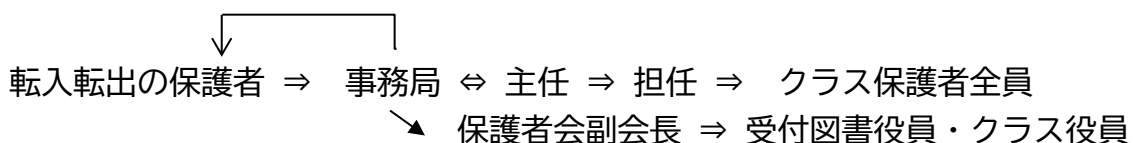
- ・ 遅刻・早退は合わせて2回に達する毎に欠席1回とみなし、進級評価等に反映する。
- ・ 同じ日に遅刻と早退が重なる場合、この遅刻と早退を合わせて欠席1回とは数えず、遅刻1回と数える。

## 9. 転入に際しての留意点

- ・ 転入希望の児童生徒には、原則として日本語能力等を判定する入学審査を行う。転入前に日本の小中学校や在外教育施設等に在籍していた場合は、最新の成績表写しの提出を転入の条件とする。
- ・ 転入に際し、原則として一日体験入学の形式で入学審査を実施する。入学審査の合格者は、原則としてその翌週の授業日を転入日とする。なお、入学審査を受けて合格した後、本校が実施する次回の入学審査実施までに転入していない場合には再度、入学審査を受けて合格しなければならない。
- ・ 外部の保護者は入学審査の受験1回につき、入学審査料として児童生徒1名あたり40ユーロを支払う。なお、入学願書を提出した時点で入学金と授業料の支払い義務が発生する。

## 10. 転入・転出時の連絡ルート

- ・ 転入転出時の連絡経路は、下記の通りとする。



- ・ 転出する児童・生徒の保護者は、補習校ウェブサイトリンクされているグー



グルフォームにて退学届を提出する。

- ・ 小6から中学部に進級を希望する場合は入学願書を提出する。進級を希望しない場合は修了届を提出する。修了届を提出した後で、最終的に中学部への入学願書を提出してもよい。

## 11. 停学・退学措置

- ・ 児童・生徒の停学・退学措置は学校全体で検討し、校長から保護者に伝達する。
- ・ 授業料は停学中も発生する。

## 12. 休学

- ・ 病気療養等の止むを得ない事情で長期欠席する場合は、補習校ウェブサイトリンクされているグルフォームにて休学願を提出する。その後、校長の承認を経て休学を認める。
- ・ 授業料は休学中も発生する。担任は毎回の学習連絡帳・プリント等を郵送し、学校からの連絡も伝達する。その郵送料は保護者が負担する。
- ・ 休学による欠席日数は、当該児童生徒の「出席すべき日数」には数えない。

## 13. 欠席扱いにならない休み（出席すべき日数から差し引く）

- ・ 児童生徒の三親等以内の家族親戚（父母、兄弟姉妹、祖父母、伯叔父母）が亡くなった場合。
- ・ 学校において予防すべき感染症（インフルエンザを含む）に罹患した場合。ただし、医療機関の診断書を提出しない場合は通常の欠席扱いとする。
- ・ 受験のため、12月から3月までの期間で出席が不可能な場合。ただし受験を証明する書類を事前または事後に提出すること。
- ・ 日本への一時帰国中に小中学校に通学した場合。ただし、本校への通学を再開する際、校長に在学証明書を提出すること。

## 14. 緊急休校時の連絡方法

- ・ 大雪などの悪天候により登校不可能と判断された場合は、前日（金曜日）の17時までに、緊急連絡網を通じ電話とメール等により通知する。

## 6 学習活動

### 1. プリクラス

- ① 授業日数 年間最低36日

※入学式・修了式は午前中のみ、運動会当日は休校となります。

- ② 1日の授業時間数 170分（1学期）、180分（2・3学期）

- ③ 標準時間割

| 1 学期        |             |                                      |
|-------------|-------------|--------------------------------------|
| 朝の会         | 9:30～10:00  | 会話                                   |
| 1 時間目       | 10:00～10:40 | ひらがな（宿題の発表）と運筆                       |
| 休み時間        | 10:40～11:05 |                                      |
| 2 時間目       | 11:05～11:45 | ひらがな（説明と書き方練習）<br>紙芝居                |
| お弁当<br>お昼休み | 11:45～12:45 | 歌の時間<br>いただきます<br>ごちそうさま<br>食後の後かたづけ |
| 3 時間目       | 12:45～13:30 | 集団遊び／工作                              |
| 休み時間        | 13:30～13:45 |                                      |
| 4 時間目       | 13:45～14:30 | 紙芝居または絵本                             |
| 帰りの会        | 14:30～15:15 | 帰りの支度、下校                             |

| 2 学期・3 学期   |             |                                      |
|-------------|-------------|--------------------------------------|
| 朝の会／朝礼      | 9:30～10:00  | 会話・校歌・ラジオ体操                          |
| 1 時間目       | 10:00～10:45 | ひらがな                                 |
| 休み時間        | 10:45～11:00 |                                      |
| 2 時間目       | 11:00～11:45 | 会話                                   |
| お弁当<br>お昼休み | 11:45～12:45 | 歌の時間<br>いただきます<br>ごちそうさま<br>食後の後かたづけ |
| 3 時間目       | 12:45～13:30 | 集団遊び／工作                              |
| 休み時間        | 13:30～13:45 |                                      |
| 4 時間目       | 13:45～14:30 | 紙芝居または絵本                             |
| 帰りの会        | 14:30～15:15 | 帰りの支度、下校                             |

## 2. 小学部

- ① 授業日数 年間最低40日
- ② 1日の授業時間数 国語 1・2年 60分 + 45分 (105分)  
 3～6年 60分 × 2 (120分)  
 算数 1・2年 60分  
 3～6年 85分  
 社会/生活 1年 30分  
 2～6年 35分

### ③ 標準時間割

| 1 年           |             | 2 年              |             | 3～6 年         |             |
|---------------|-------------|------------------|-------------|---------------|-------------|
| 朝礼            | 09:30-09:50 | 朝礼               | 09:30-09:50 | 朝礼            | 09:30-09:50 |
| 1 時間目         | 09:55-10:55 | 1 時間目            | 09:55-10:55 | 1 時間目         | 09:55-10:55 |
| 休み            | 10:55-11:05 | 休み               | 10:55-11:05 | 休み            | 10:55-11:05 |
| 2 時間目         | 11:05-11:50 | 2 時間目            | 11:05-11:50 | 2 時間目         | 11:05-12:05 |
| 昼休み           | 11:50-12:45 | 昼休み              | 11:50-12:45 | 昼休み           | 12:05-12:45 |
| 3 時間目<br>(算数) | 12:45-13:30 | 3 時間目<br>(算数)    | 12:45-13:45 | 3 時間目<br>(算数) | 12:45-13:25 |
| 図書            | 13:30-13:45 | 図書               | 13:45-14:00 | 休み            | 13:25-13:30 |
| 読み聞かせ         | 13:45-14:00 | 読み聞かせ            | 14:00-14:15 | 4 時間目<br>(算数) | 13:30-14:15 |
| 4 時間目<br>(算数) | 14:00-14:15 | 休み               | 14:15-14:30 | 休み(図書)        | 14:15-14:30 |
| 休み            | 14:15-14:30 | 4 時間目<br>(生活・算数) | 14:30-15:05 | 5 時間目<br>(社会) | 14:30-15:05 |
| 4 時間目<br>(生活) | 14:30-15:00 | 帰りの会             | 15:05-15:15 | 帰りの会          | 15:05-15:15 |
| 帰りの会          | 15:00-15:15 |                  |             |               |             |

④ 使用教科書および副教材

| 教科書 |      | 副教材 |                    |            |
|-----|------|-----|--------------------|------------|
| 国語  | 光村図書 | 国語  | 国語の力               | 文溪堂        |
|     |      |     | 3～6 年) 漢字の学習       | 文溪堂        |
|     |      |     | 1 年) ひらがなのれんしゅう    | 文溪堂        |
|     |      |     | 1 年) あかねこカタカナスキル   | 光村教育図書     |
|     |      |     | 1、2 年) 漢字学習ノート     | 教育同人社      |
|     |      |     | 1 年) 国語ノート         | アピカ        |
| 算数  | 東京書籍 | 算数  | 算数の力<br>1 年) 算数ノート | 文溪堂<br>アピカ |
| 社会  | 東京書籍 |     |                    |            |
| 地図  | 帝国書院 | 社会  | 5・6 年) 社会科資料集      | 文溪堂        |
|     |      | 夏期  | 全学年) 夏のびのび         | 文溪堂        |
|     |      |     | 全学年) きたえる夏         | 文溪堂        |
| 生活  | 東京書籍 |     |                    |            |



### 3. 中学部

- ① 授業日数 年間最低40日
- ② 1日の授業時間数 国語 90分 × 1 (90分)  
 数学 90分 × 1 (90分)  
 社会 90分 × 1 (90分)

③ 標準時間割

|             |                   |
|-------------|-------------------|
| 09:30～09:45 | 漢字テスト             |
| 09:50～11:20 | 1時間目              |
| 11:20～11:30 | 休み                |
| 11:30～13:00 | 2時間目              |
| 13:00～13:20 | 昼食                |
| 13:20～13:35 | 昼休み               |
| 13:35～15:05 | 3時間目              |
| 15:05～15:20 | HR (百人一首、文集話し合い等) |
| 15:20～15:30 | 掃除、後片付け           |

④ 学年別の時間割

| 1学期  | 中1 | 中2 | 中3 |
|------|----|----|----|
| 1時間目 | 国語 | 数学 | 社会 |
| 2時間目 | 社会 | 国語 | 数学 |
| 3時間目 | 数学 | 社会 | 国語 |

| 2学期  | 中1 | 中2 | 中3 |
|------|----|----|----|
| 1時間目 | 数学 | 社会 | 国語 |
| 2時間目 | 国語 | 数学 | 社会 |
| 3時間目 | 社会 | 国語 | 数学 |

| 3学期  | 中1 | 中2 | 中3 |
|------|----|----|----|
| 1時間目 | 社会 | 国語 | 数学 |
| 2時間目 | 数学 | 社会 | 国語 |
| 3時間目 | 国語 | 数学 | 社会 |

⑤ 使用教科書および副教材

| 教科書 |            |      | 副教材 |                 |        |
|-----|------------|------|-----|-----------------|--------|
| 国語  |            | 光村図書 | 国語  | 国語便覧            | 浜島書店   |
|     |            |      |     | 国語の学習           | 浜島書店   |
|     |            |      |     | 基礎をきずく国語        | 浜島書店   |
|     |            |      |     | 学習漢字ノート         | 浜島書店   |
| 数学  |            | 啓林館  | 数学  | Key ワーク 啓林      | 教育開発出版 |
| 社会  | 歴史         | 東京書籍 | 社会  | 1～3 年) よみとき総合歴史 | 浜島書店   |
|     | 地理 (3 年)   | 東京書籍 |     |                 |        |
|     | 地理 (1・2 年) | 帝国書院 |     |                 |        |
|     | 公民         | 東京書籍 |     |                 |        |
|     | 地図帳        | 帝国書院 |     |                 |        |



## 7 年間予定表 (2025 年度／令和 7 年度)

| 月   | プリクラス                    | 小学部                    | 中 学 部                              |
|-----|--------------------------|------------------------|------------------------------------|
| 4月  | 春休み                      | 春休み                    |                                    |
|     |                          | 入学式・始業式　《英検申込》         |                                    |
|     |                          | 保護者懇談会                 |                                    |
| 5月  | プリクラス入学式                 | 紅白リレー選手選定              |                                    |
|     | 保護者懇談会                   | 授業参観                   |                                    |
| 6月  | 在オランダ日本人合同運動会（プリクラスは休校日） |                        |                                    |
|     | 授業参観                     |                        | 授業参観・保護者懇談会<br>《海外子女文芸作品コンクール校内締切》 |
| 7月  | 七夕                       | 緊急事態対処訓練(全校)           |                                    |
|     |                          | 一学期終業式　すいか割り大会（中学部）    |                                    |
|     | 夏休み                      |                        |                                    |
| 8月  | 二学期始業式　《英検申込》            |                        |                                    |
|     | 個人面談                     | 懇談会                    |                                    |
| 9月  | 避難訓練（全校）                 |                        |                                    |
|     | 個人面談                     | 個人面談                   | 成績表配布　《漢字検定申込》                     |
|     | 休　校（日本人学校学習発表会）          |                        |                                    |
| 10月 | ミニミニ運動会                  | 個人面談                   | 個人面談<br>《漢字検定実施》                   |
| 11月 | ミニミニ発表会                  | 個人面談（予備）<br>学習発表会      | 個人面談（予備）<br>文集用写真撮影                |
| 12月 |                          |                        | クリスマス会                             |
|     | 二学期終業式　社会科特別講義（中学部）      |                        |                                    |
|     | 冬休み                      |                        |                                    |
| 1月  | 三学期始業式                   |                        |                                    |
|     | すごろく大会                   | お正月会<br>新小1説明会<br>入学審査 | 百人一首大会                             |
| 2月  | プリクラス説明会                 | 小6実力判定テスト              | 小6・中学部授業見学・説明会                     |
| 3月  | プリクラス修了式                 | 卒業式・修了式                |                                    |
|     |                          | 成績表・文集配布               |                                    |
|     | 春休み                      |                        |                                    |

## 8 諸費用

### 1. 入学審査料

- ・ 40 ユーロ
- ・ 外部から入学を希望する児童生徒 1 名の入学審査実施 1 回につき納入する。
- ・ 納入された入学審査料は入学の可否や待機の結果にかかわらず返金されない。

### 2. 入学金

- ・ 250 ユーロ（プリクラス・小・中学部共通）
- ・ 入学金は、入学審査結果を受理してから 1 週間以内に納入する。入金確認後、入学を許可する。この入学金は、該当する年度末まで有効とする。
- ・ 入学金の納入は、本校入学時または転入時の 1 回のみとする。
- ・ ただし、一旦退学後、再び入学する際は納入する。プリクラスから小学部および小学部から中学部への進学時は入学金を免除する。ただし、願書提出締切日を過ぎてからの申し込みは転入生扱いとなり、入学金を納入する必要がある。

### 3. 授業料

- ・ プリクラス 年額 1, 730 ユーロを学期ごとに分納する。
- ・ 小学部（1 年生）年額 1, 750 ユーロを学期ごとに分納する。
- ・ 小学部（2 年生以上）年額 1, 700 ユーロを学期ごとに分納する。
- ・ 中学部 年額 1, 730 ユーロを学期ごとに分納する。
- ・ 授業料は、各学期初めに事務局より発行される授業料請求に従い、期日までに指定口座に振り込む。
- ・ 一度納入された授業料は返金されない。
- ・ 中途入学者は入学後、当該学期授業日数分の授業料を支払う。
- ・ 中途退学者の取り扱い
  - （1）退学を希望する場合は、退学希望日から数えて 30 日前までに本校に退学届を提出しなければならない。
  - （2）本校は、中途退学希望者が中途退学のために受けられない授業日数分の授業料と、すでに支払われた当該学期の授業料との差額を精算する。退学希望日から数えて 30 日前までに退学届の提出がない場合、退学届提出日から数えて 30 日後までの授業日数分の授業料の支払い義務が発生する。
  - （3）返金される授業料の支払いは、中途退学者またはその保護者と本校があらかじめ合意した場合を除き、オランダ国内でユーロ通貨にて行う。

【退学希望日から起算して 30 日前を計算した一例】

2026 年 3 月 31 日（火）付での退学希望の場合

⇒2026 年 3 月 2 日（月）24 時（オランダ時間）までに退学届を提出する。



#### 4. 副教材費（為替による変動あり、学年により異なる）

- ・ プリクラス なし
  - ・ 小学部 年間計 約€50～€60
  - ・ 中学部 年間計 約€20～€30
- ＊転出が決まった時点ですでに発注されていた副教材は、購入していただく。

#### 5. 授業料が発生する期間

- ・ プリクラス 5月～翌年3月の11か月
- ・ 小学部・中学部 年間（4月～翌年3月の12か月）
- ・

#### 6. 請求時期 学期ごと保護者に通知する。

#### 7. 費用早見表

| 学部    | 入学金  | 授業料/年                              | 副教材費（目安額）/年 |
|-------|------|------------------------------------|-------------|
| プリクラス | €250 | €1730                              | なし          |
| 小学部   | €250 | €1750<br>（1年生）<br>€1700<br>（2年生以上） | 約€50～€60    |
| 中学部   | €250 | €1730                              | 約€20～€30    |

## 9 学校生活のきまり

#### 1. 学校内での会話は、授業中も休み時間も、日本語で行う。

補習校は日本語、日本文化を学ぶ場であることを自覚し、学校生活を日本語学習のために有効に使うことに努める。

#### 2. ボール、なわとび、卓球用具、トランプ以外のおもちゃ等を持ち込まない。

おもちゃ等の持ち込みは学習の妨げになるほか、紛失・いじめ等のトラブルの原因となるため。

#### 3. 昼食以外の食べ物（おやつ、お菓子等）を持って来てはならない。

お菓子をあげた、あげない等のトラブルを防ぐため（特別な場合を除く）。

#### 4. 児童生徒の校内での携帯電話使用は原則として禁止する。

緊急の場合やどうしても必要な場合は、担任の許可を得て使用する。

#### 5. 飲み物は水筒やふた付きの容器に入れた物を持参する。

紙パックや缶入りの飲料は、授業中にこぼすなどして授業の妨げになることが多いため持ち込まない。

**6. 教室内の座席は担任が決める。席替えは、原則として每学期行なう。**

仲の良い子同士が隣り合って座ると私語が増え、クラスが特定のグループに分かれてしまうことが多いため座席は担任が決める。担任は、席替えにより子どもたちが新たに友人を作りやすい環境を整える。

**7. 授業開始時並びに終了時には、原則として「起立、礼」の挨拶を行なう。**

授業時間と休み時間のけじめを付けるため、きちんと挨拶をする。

**8. 日直制度（毎回小学部児童2名、中学部生徒1名）を設ける。**

日直は、挨拶の号令や授業終了後の掃除等を担当する。

作業を通じて責任感を培う。作業は児童生徒全員で公平に行う。

**9. 授業中の飲食は原則として禁止する。喉の渇きは、休み時間に潤す。**

授業時間と休み時間のけじめを付けるため、授業中の飲食は禁止する。

**10. トイレは休み時間に行く。原則として授業中はトイレに行かないようにする。**

ただし、急を要する場合は許可する。

**11. 室内の整理・整頓を心がけ、学習に集中できる環境を整える。**

バッグやランドセルは、教室の後方もしくは廊下に置く。

ジャケットやコートは、廊下のフックに掛ける。

**12. 小学部で遅刻・早退する場合は、原則として休み時間に教室に出入りする。**

**13. テストは原則として授業中の正規の実施時間でのみ実施する。**

テストを受けられなかった場合は成績に反映され進級可否に結びつく。

## 10 校舎使用に関する注意

### [全校]

1. 校舎および校舎の設備備品はアムステルダム日本人学校の所有物であり、本校が借用しているものである。大切に使用し、損傷や破損のないように十分注意する。もし破損・損傷が生じた場合は、すぐに担任に報告し、指示を仰ぐ。
2. アムステルダム日本人学校の児童生徒・教職員の私物をさわらない。

### [教室]

1. 掃除用具以外は使用せず授業終了後は原状回復する。下記に注意すること。
  - ・机、椅子を元の位置に戻す・床のゴミを拾い、ゴミ箱のゴミを捨てる。
  - ・黒板を消し、周辺を掃除する・窓の鍵を閉める・暖房の目盛りを2に戻す。

### [ホール・廊下]

1. 走らない・ボールで遊ばない・ホールの鉄棒の高さを変えない。

### [体育館] ※教師・保護者当番による監督のもとでのみ使用可能

1. 体育館専用靴（床に靴跡が付かないもの）で入館する。
2. バスケットゴールは、日本人学校で設置される期間のみ使用可能とする。
3. 学校行事に関係する練習などでない限り、ステージに上らない
  - ・網や肋木を使用しない・ボールを蹴らない・ダンクシュートしない

### [校庭]

1. 砂場（花壇横を除く）では遊ばない。
2. プリクラス及び小学部1年生から3年生は、校庭の校舎側半分のみ使用可能。

### [その他]

1. ボールや卓球・バドミントン用具等の備品は、各々のルールに従い使用する。
2. 原則として、印刷室・資料室への児童生徒の入室を禁止する。
3. 保護者の私的用途によるコピー機の使用を禁止する。

## 1 1 安全指導と対策・非常時の対応

### <児童生徒の安全な学校生活のための指導および活動>

1. 朝礼やホームルーム、また必要に応じて随時、安全に十分注意を払うよう指導し、意識の定着を図る。
2. 不審者の侵入を防ぐため、入校者には入校許可証の携行を義務付ける。保護者には予め配布し、入校の都度受付で提示を求める。その他の来校者には、受付で氏名、用件を記入した上で臨時入校許可証を発行する。
3. 保護者受付当番は入校者確認のため玄関に常駐し、休み時間に体育館、ホール、校庭、廊下など校内を見回る。
4. 構内での傷病災害事故時における教師の対応はマニュアルに沿って行う。保護者への連絡のため、緊急連絡簿を常備しておく。
5. 年1回、避難訓練を行う。災害時の避難経路は各教室に掲示されている。
6. 教師は緊急時警報のため、つねに警笛を携行する。

### <児童生徒に傷病が起こった場合、児童生徒が物品を破損した場合の処置>

#### 1. 傷病

- ① 救急処置の資格保持教諭または、同等の資格と経験を保持する教諭が、下記の判断のもとに処置する。
  - ・救急車を呼ぶ必要があるかどうか
  - ・病院（OLVG west 病院）での手当が必要かどうか
  - ・学校の救護用品で処置できるかどうか
- ② 児童生徒の保護者に状況を伝達する。
  - \* 医療費は原則として児童生徒保護者が自己負担（自己加入の医療保険適用）。
  - \* 医療費が自己負担額を超える場合、本校加入の傷害保険も併せて適用される。
  - \* 「教師の指導下、児童生徒が傷害を被り、学校側に責任がある。」と保険会社を通して判断が下された場合は、学校加入の賠償責任保険の適用となる。

#### 2. 学校の備品及び他の児童生徒の所持品の破損

- ① 児童・生徒が不注意により他の児童生徒を傷つけたり施設や物品を破損したりした場合には、保護者による補償や賠償を原則とする。
- ② 万一に備え、各家庭で個人賠償責任保険（Aansprakelijkheids Verzekering、オランダでは通常ほとんどの家庭が加入）への加入を推奨する。

## 1 2 本校が加入している保険

### 【傷害保険】

- ・ オランダ在住の教員、児童生徒、事務員、契約者が主催する行事等を手伝う保護者を対象者とする。
- ・ 本傷害保険は、上記対象者が登校のため家を出た時点から帰宅するまでの間に発生する予期せぬ事故により死亡、または後遺障害を被った場合に適用される。
- ・ 事故の責任が上記対象者以外にある場合、医療費・歯科治療費は責任者に請求。
- ・ 戦争、内乱、テロ、故意による事故、アルコール等が原因の場合は保険適用外とする。
- ・ 医療費、および怪我による歯科治療費は、費用総額が個人加入医療保険の補償限度額を超過する場合のみ適用し、本傷害保険にて超過分を負担する。
- ・ 掛け金を少なくするため、個人加入保険で補償できる内容と重複しないよう、医療費補償はセカンダリーカバーとして適用することを条件としている。
- ・ 補償限度額
 

|                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 死亡時            | EUR 25,000.-    |
| 2. 後遺症時           | EUR 50,000.-    |
| 3. 医療費            | EUR 2,500.-     |
| 4. 怪我による歯科治療費     | EUR 2,500.-     |
| 5. 一事故あたりの最高補償限度額 | EUR 2,500,000.- |

### 【賠償責任保険】

- ・ アムステルダム日本語補習授業校（教職員）が、第三者（児童生徒保護者及び訪問客等を含む）に対し法的な賠償責任を負った場合に発動する保険。
- ・ オランダの法律に基づき学校側（教職員）に責任があると判断されたケースにのみ対応。
- ・ 異議が生じた場合、最終的な判断は裁判所が行う。
- ・ 物的損害においては損害額が100ユーロを超えた場合、管理財物においては損害額が250ユーロを超えた場合を対象とする。

# 1 3 児童生徒数（2025 年 4 月 12 日現在）

## 1. 学年毎の児童生徒数（プリは予定数）

|     | プリ | 小 1 | 小 2 | 小 3 | 小 4 | 小 5 | 小 6 | 計   | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 計  | 合計  |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 計   | 26 | 33  | 23  | 25  | 24  | 26  | 20  | 151 | 14  | 15  | 4   | 33 | 210 |
| 学級数 | 2  | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 14  | 1   | 1   | 1   | 3  | 17  |
| 教師数 | 2  | 4   | 2   | 2   | 2   | 3   | 2   | 17  | 1   | 1   | 1   | 3  | 21  |

※教師数の合計には校長・主任・補助教諭を含む

## 2. 児童生徒の平日通学校

|                 | 小 1 | 小 2 | 小 3 | 小 4 | 小 5 | 小 6 | 計   | 中 1 | 中 2 | 中 3 | 計  | 合計  |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| オランダ現地校         | 16  | 12  | 10  | 12  | 14  | 8   | 72  | 10  | 8   | 2   | 20 | 92  |
| アムステルダム周辺インター   | 0   | 1   | 3   | 0   | 3   | 2   | 9   | 1   | 0   | 1   | 2  | 11  |
| アムステルダム プリティッシュ | 1   | 2   | 0   | 1   | 0   | 1   | 5   | 0   | 0   | 0   | 0  | 5   |
| アムステルダム公立インター   | 12  | 6   | 8   | 7   | 3   | 3   | 39  | 3   | 3   | 1   | 7  | 46  |
| その他             | 4   | 2   | 4   | 4   | 5   | 6   | 25  | 0   | 4   | 0   | 4  | 29  |
| 計               | 33  | 23  | 25  | 24  | 25  | 20  | 150 | 14  | 15  | 4   | 33 | 183 |

## 3. 近年の児童生徒数推移

| 年度   | プリクラス |    | 小学部 | 中学部 | 全校計 |
|------|-------|----|-----|-----|-----|
|      | 期間    | 人数 |     |     |     |
| 2019 | 5月～3月 | 18 | 130 | 18  | 166 |
| 2020 | 5月～3月 | 25 | 156 | 18  | 199 |
| 2021 | 5月～3月 | 27 | 171 | 17  | 216 |
| 2022 | 5月～3月 | 26 | 190 | 20  | 236 |
| 2023 | 5月～3月 | 22 | 165 | 17  | 204 |
| 2024 | 5月～3月 | 21 | 158 | 27  | 206 |

#### 4. 児童生徒数推移（各年度末時点）

| 年度   | 合計人数 | 小学部 | 中学部 |
|------|------|-----|-----|
| 1982 | 33   |     |     |
| 1983 | 44   |     |     |
| 1984 | 40   |     |     |
| 1985 | 54   |     |     |
| 1986 | 63   |     |     |
| 1987 | 89   |     |     |
| 1988 | 108  |     |     |
| 1989 | 117  |     |     |
| 1990 | 94   |     |     |
| 1991 | 106  | 76  | 30  |
| 1992 | 102  | 80  | 22  |
| 1993 | 111  | 82  | 29  |
| 1994 | 126  | 96  | 30  |
| 1995 | 121  | 89  | 32  |
| 1996 | 128  | 98  | 30  |
| 1997 | 145  | 111 | 34  |
| 1998 | 140  | 112 | 28  |
| 1999 | 148  | 113 | 35  |
| 2000 | 142  | 99  | 43  |
| 2001 | 135  | 109 | 26  |
| 2002 | 161  | 138 | 23  |
| 2003 | 192  | 168 | 24  |
| 2004 | 200  | 170 | 30  |
| 2005 | 176  | 146 | 30  |
| 2006 | 165  | 138 | 27  |
| 2007 | 157  | 133 | 24  |
| 2008 | 154  | 131 | 23  |
| 2009 | 166  | 136 | 30  |
| 2010 | 151  | 124 | 27  |
| 2011 | 148  | 125 | 23  |
| 2012 | 157  | 138 | 19  |
| 2013 | 153  | 123 | 30  |
| 2014 | 127  | 106 | 21  |
| 2015 | 147  | 105 | 29  |
| 2016 | 139  | 117 | 22  |
| 2017 | 141  | 114 | 27  |
| 2018 | 133  | 116 | 17  |
| 2019 | 148  | 130 | 18  |
| 2020 | 174  | 156 | 18  |
| 2021 | 189  | 171 | 17  |
| 2022 | 210  | 190 | 20  |
| 2023 | 182  | 165 | 17  |
| 2024 | 206  | 158 | 27  |

| プリクラス |        |
|-------|--------|
| 人数    | 期間     |
| 12    | 10月～3月 |
| 12    | 8月～3月  |
| 12    | 8月～3月  |
| 12    | 8月～3月  |
| 13    | 8月～3月  |
| 15    | 8月～3月  |
| 21    | 8月～3月  |
| 32    | 8月～3月  |
| 25    | 8月～3月  |
| 20    | 8月～3月  |
| 11    | 8月～3月  |
| 22    | 8月～3月  |
| 22    | 8月～3月  |
| 24    | 8月～3月  |
| 25    | 8月～3月  |
| 19    | 8月～3月  |
| 26    | 8月～3月  |
| 23    | 8月～3月  |
| 18    | 8月～3月  |
| 19    | 8月～3月  |
| 21    | 8月～3月  |
| 13    | 5月～3月  |
| 19    | 5月～3月  |
| 25    | 5月～3月  |
| 23    | 5月～3月  |
| 18    | 5月～3月  |
| 25    | 5月～3月  |
| 27    | 5月～3月  |
| 26    | 5月～3月  |
| 22    | 5月～3月  |
| 21    | 5月～3月  |

# 1 4 理事・教職員一覧（2025 年 10 月 4 日現在）

## 1. 理事

|   | 役職   | 氏名    | 所属                                      |
|---|------|-------|-----------------------------------------|
| 1 | 理事長  | 北谷 拓真 | AGC Chemicals Europe, Ltd.              |
| 2 | 財務理事 | 岩間 秀雄 | Mimaki Europe B.V.                      |
| 3 | 理事   | 中田 靖章 | MSIG Europe SE - The Netherlands Branch |
| 4 | 理事   | 野田 悠太 | Deloitte Tax & Legal B.V.               |

## 2. 教職員

|    | 担当    |             | 氏名           |
|----|-------|-------------|--------------|
| 1  | 校長    |             | 鈴木 隆秀        |
| 2  | プリクラス | 主任兼 1 組     | 千田 みづ江       |
| 3  |       | 2 組         | 原 彩          |
| 4  | 小学部   | 主任兼 1 年 1 組 | 井上 紀子        |
| 5  |       | 1 年 2 組     | 田崎 由香里       |
| 6  |       | 補助          | 加藤 舞         |
| 7  |       | 補助          |              |
| 8  |       | 2 年 1 組     | 久米 友記        |
| 9  |       | 2 年 2 組     | 猪之鼻 夏希       |
| 10 |       | 3 年 1 組     | 梅沢 美幸        |
| 11 |       | 3 年 2 組     | 室崎 里子        |
| 12 |       | 4 年 1 組     | 野川 ひろみ       |
| 13 |       | 4 年 2 組     | 宇田川 真紀子      |
| 14 |       | 主任兼 5 年 1 組 | 佐藤 利恵        |
| 15 |       | 5 年 1 組副担任  | 藤本 孝仁        |
| 16 |       | 5 年 2 組     | 岡部 彩<br>佐藤 遥 |
| 17 |       | 6 年 1 組     | 辻 ひとみ        |
| 18 |       | 6 年 2 組     | 福澤 早彩        |
| 19 | 中学部   | 1 年／社会科     | 根井 啓         |
| 20 |       | 主任兼 2 年／国語科 | 宮田 絵美        |
| 21 |       | 3 年／数学科     | 山本 敦子        |
| 22 | 事務局   |             | 榊原 順子        |
| 23 |       |             | 鈴木 敏子        |



# 15 備考

## 1. 校舎について

|                |                                                      |               |
|----------------|------------------------------------------------------|---------------|
| 校 舎            | 昭和58年1月5日 着工                                         | 昭和59年1月16日 竣工 |
|                | 平成元年12月 増築工事着工                                       | 平成2年9月27日 竣工  |
| 敷地面積<br>8,125㎡ | 校舎延べ面積 4,630㎡                                        | 体育館面積 540㎡    |
|                | グラウンド 3,220㎡                                         | 全天候型トラック 135m |
| 普通教室数          | 18                                                   |               |
| 特別教室           | 理科室 音楽室 図工室 図書室 家庭科室 視聴覚室 語学室                        |               |
| 管理室等           | 校長室 職員室 事務室 保健室 会議室 放送室 印刷室 給湯室 資料室 PTA室 更衣室 コンピュータ室 |               |
| 校舎の構造          | れんが造り2階建て                                            | 暖房・温水設備       |

＊月曜日から金曜日まではアムステルダム日本人学校が使用し、土曜日はアムステルダム日本語補習授業校が借用している。管理責任者はアムステルダム日本人学校校長である。

## 2. 自動車での送迎に関する注意

登下校時における児童生徒の安全確保と校門付近の渋滞混雑緩和、ならびに近隣住民との良好な関係維持のため、保護者の駐停車について下記ルールを適用する。

1. 学校敷地内は、送迎のための自動車の乗り入れと駐車を原則禁止する。
2. 校門周辺の自動車進入について、送迎時の混雑する時間帯に校門前の道路に保護者の自動車が入ると相互通行が難しくなり、近隣住民の駐車通行スペースを妨げることになるので、保護者の自動車進入は校門手前の分岐点までとする。
3. 学校敷地内には駐車スペースがないため、学校周辺の有料駐車場を利用する。その際、外から見える所に物を置かない等、車の破損・盗難には十分注意する。

### 3. 遅刻早退欠席用書式

グーグルフォーム(<https://forms.gle/He9KssBfDC7kfnTv9>) 参照

### 4. 学校連絡先

|     |                                                                                                                                                                         |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学校名 | アムステルダム日本語補習授業校<br>Japanese Saturday School Amsterdam<br>Tel: 土曜日のみ 020-611-3629<br>E-mail: office@jssa.nl<br>URL : <a href="http://www.jssa.nl">http://www.jssa.nl</a> |
| 事務局 | 土 : 9 :00～16 :00                                                                                                                                                        |



「アムステルダム日本語補習授業校 ２０２５年度概要」

発行 アムステルダム日本語補習授業校  
Japanese Saturday School Amsterdam

イラストレーション：Arie van Dijk  
校章デザイン：渡部元見

２０２５年 １０月発行